

＜ご講演概要＞

事業所内保育室の設置から、配偶者との同居への配慮などの新しい取り組みまで、これまでの約 18 年にわたる資生堂における男女共同参画への取り組みの結果、女性社員の勤続年数や、女性管理職割合（2008 年 4 月現在 16.2%、近い将来に 20%の達成を目指す）も増加した。それらの活動が個人的なものだけに留まらず、女性が活用されることによって組織としての活躍に繋がり、企業経営パフォーマンスに好影響を及ぼし、ひいては社会全体にも広がることの素晴らしさが示された。